子どもたちに夏の思い出を

ねん　　くみ　なまえ

子どもたちに、夏の思い出をつくってもらおうと、東御市御牧原の北部区で、花火を打ち上げるイベントが開かれました。イベントのようすについて、先生やおうちの人と、きじを読んでみましょう。

①花火のイベントは、何という名前ですか。

②イベントは、何日に開かれましたか。

③約何発の花火が、夜空を彩りましたか。

約（　　）発

④花火は、何を合図に開始しましたか。

⑤武井大翔君は、何とはなして喜んでいますか。

⑥打ち上げ前に読み上げられた「どこ見ても　きれいな景色　御牧原」は、ひらがなで書くと五字、七字、五字でつくられています。あなたの夏の思い出を、同じように五字、七字、五字でまとめてみましょう。

子どもたちに夏の思い出を―

東御・御牧原 夜空彩る80発

東御市御牧原の夜を彩った「ほくぶ夢はなび」

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、夏の思い出をつくって―。東御市御牧原の北部区で15日、花火打ち上げイベント「ほくぶ夢はなび」が開かれた。密を避けながら楽しんでもらおうと住民らの実行委員会が企画。地元の小中学生が作った川柳や短歌の紹介とともに、約80発が夜空を彩った。

子どもたちのカウントダウンで開始。打ち上げ地点近くの道路には20人ほどの住民が集まり、距離を取りつつ「きれいだね」「大きい」。武井大翔君(10)は「この夏は遠くに出掛けられなかったので、いい思い出になった」と喜んでいた。

打ち上げ前には、子どもたちから募った川柳や短歌が読み上げられた。「どこ見てもきれいな景色御牧原」「みまきは豊かな自然広い空みんな笑顔の自慢の場所だ」など、思い思いに地域の魅力を表現した。

打ち上げは昨年に続き2回目。新型コロナで中止した夏祭りの代わりに企画した。実行委員長の内藤吉春さん(40)は「子どもたちが楽しめる機会をつくりたかった。新型コロナが収まり、みんなでわいわい騒げるイベントをまた開けるといい」と話していた。

（2021年8月18日朝刊・地域面〈東信〉）

子どもたちに夏の思い出を

解答例

ねん　　くみ　なまえ

子どもたちに、夏の思い出をつくってもらおうと、東御市御牧原の北部区で、花火を打ち上げるイベントが開かれました。イベントのようすについて、先生やおうちの人と、きじを読んでみましょう。

①花火のイベントは、何という名前ですか。

【答え】　ほくぶ夢はなび

②イベントは、何日に開かれましたか。

【答え】　（8月）15日

③約何発の花火が、夜空を彩りましたか。

約（　80　）発

④花火は、何を合図に開始しましたか。

【答え】　子どもたちのカウントダウン

⑤武井大翔君は、何とはなして喜んでいますか。

【答え】　この夏は遠くに出掛けられなかったので、いい思い出になった

⑥打ち上げ前に読み上げられた「どこ見ても　きれいな景色　御牧原」は、ひらがなで書くと五字、七字、五字でつくられています。あなたの夏の思い出を、同じように五字、七字、五字でまとめてみましょう。

【答え】　自由記述